

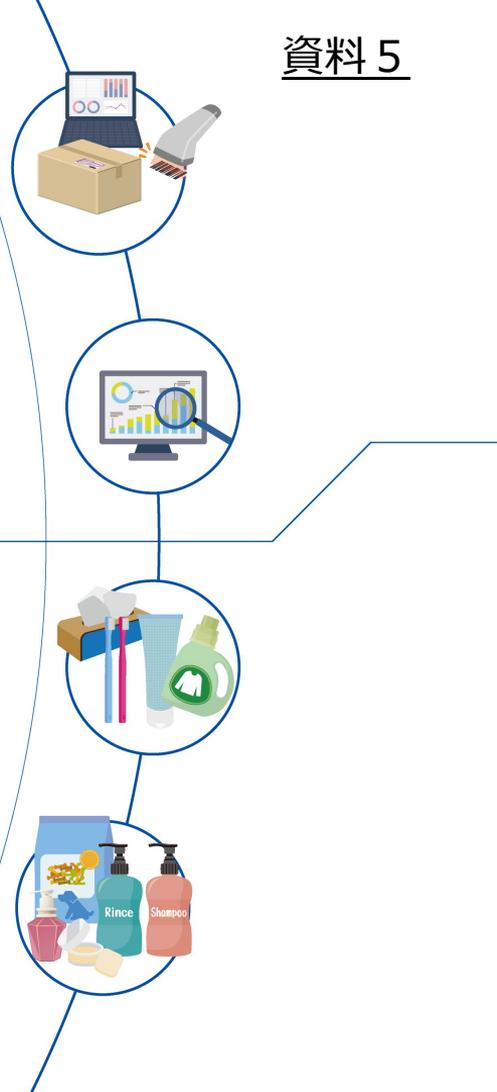


総合物流施策大綱 フォローアップ会議 報告

化粧品日用品業界における標準EDIサービス

2023年8月3日

株式会社 **プラネット**



1. プラネットとは
2. ロジスティクスEDI推進の目的
3. 化粧品日用品業界の推進体制
4. これまでの活動
5. ASNデータの期待効果
6. 今後の展開

■ 会社概要

一般消費財の流通ネットワークを支える
インフォメーション・オーガナイザー
(情報のまとめ役)

企業名 : 株式会社プラネット

会社設立 : 1985年8月1日【7月決算】

代表者 : 代表取締役社長 坂田 政一
(さかた まさかず)

事業内容 : EDI (電子データ交換) 基幹プラットフォームの
構築・提供・運用

資本金 : 4億36百万円

従業員数 : 45名 (2023年3月末現在)

上場市場 : 東京証券取引所 スタンダード市場 (証券コード: 2391)

標準となる情報インフラサービスを安全、中立、継続的に提供

日用品・化粧品業界の流通システムを最適化する業界共通インフラ (VAN) 構築を目指し、通信事業の規制緩和を契機に、同業界の有力メーカー8社の合意の下、1985年に設立。

| | |
|---------|--------------|
| ライオン | 十條キンバリー |
| ユニ・チャーム | (現 日本製紙クレシア) |
| 資生堂 | エステー化学 |
| サンスター | (現 エステー) |
| ジョンソン | 牛乳石鹼共進社 |



インテックに
ネットワーク運用と
監視業務を委託

インテック

プラネットは設立以来、化粧品日用品業界、ペットフード・用品業界、OTC医薬品業界のご支援をいただきながら、業界全体の業務効率化、流通機能の強化に尽力して参りました。

プラネットは業界の情報インフラとしての役割を果たすため、これまでの商流中心の標準EDI (データ交換) に加え、物流分野においてもEDIの標準化を行なって参ります。

目的

安定した商品供給を持続すること
業界の物流費高騰を抑制すること

方法

物流分野のデータを標準化し、メーカー・卸売業・物流事業者が協力して、データ活用することに加え、物流オペレーションの改善により、業界全体の物流費用を削減する

○物流オペレーション

メーカー、卸売業、物流事業者協働参画テーブルを組織し業務の標準化、効率化、最適化を実現する

○アプローチ

物流活動のトリガーとなる情報連携基盤の整備・標準化

物流にかかる要求仕様を集約・標準化させやすい単位（業界）からエントリー

○情報連携基盤

プラネットの商流標準EDIに加え、物流ではロジスティクスEDIと呼称してEDIの標準化、業界内外のデータ連携を行う

(全卸連主催)

全卸連情報システム委員会

- ・卸売業、メーカー約20社などで活動
- ・標準データ仕様の検討、承認

(流通経済研究所主催)

サプライチェーン物流生産性研究会

- ・メーカー、物流事業者など約25社で活動
- ・物流現場改善活動に取り組む

現場改善の提案

現場改善の検討分担

標準データ仕様案を提示

ロジスティクスEDI推進会議

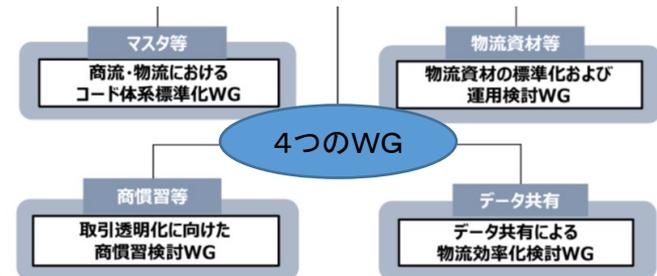
- ・参加企業
エスター、牛乳石鹼共進社、小林製薬、サンスター、ユニ・チャーム、ユニリーバジャパン、ライオン、プラネット
- ・ロジEDIについて化粧品日用品業界の推進をオーガナイズ
- ・標準データ連携などシステム実装

連携して活動

製配販連携協議会

(流通経済研究所主催)

(プラネット主催)



これまでの活動

間接的に2024年問題対処



デジタルの動き



ロジスティクスEDI概要書を策定



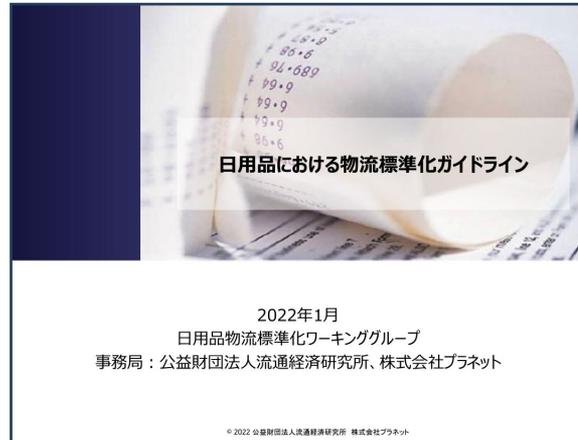
ASNデータの業界標準策定、リリース

ASNデータ試用による効果検証（SIPの活動とも連携）



伝票レス業務モデルの策定、実運用化計画の策定を進める。
2023年内に順次、開始予定

フィジカルの動き

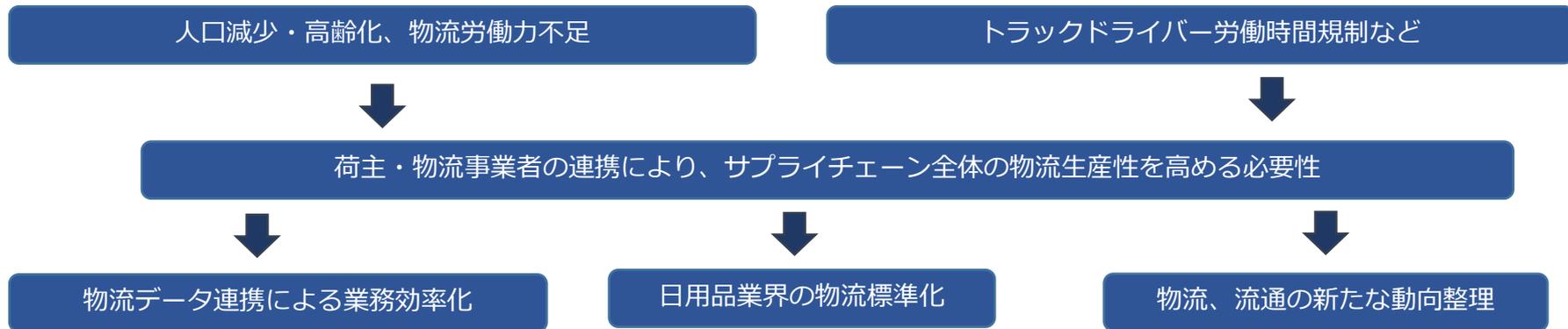


「日用品における物流標準化ガイドライン」の発行

プラネット物流株式会社が作成した「外装表示基準書」をもとに、研究会内の『日用品物流標準化ワーキンググループ』において内容を更新・整理。

- ①外装表示の項目、内容、位置などの基準
- ②使用パレット、荷姿についての考え方
- ③納品伝票の重要表記項目、伝票レイアウトについて、物流標準化の考え方と指針を提示

これまでの活動：フィジカルの動き（現場業務改善の取組み）



サプライチェーン物流生産性研究会において、メーカー13社、物流事業者11社が活動している

【今後の予定】

○日用品業界の物流標準化の推進

2023年内を目標に「伝票レス・検品簡素化ガイドライン」を発表予定。

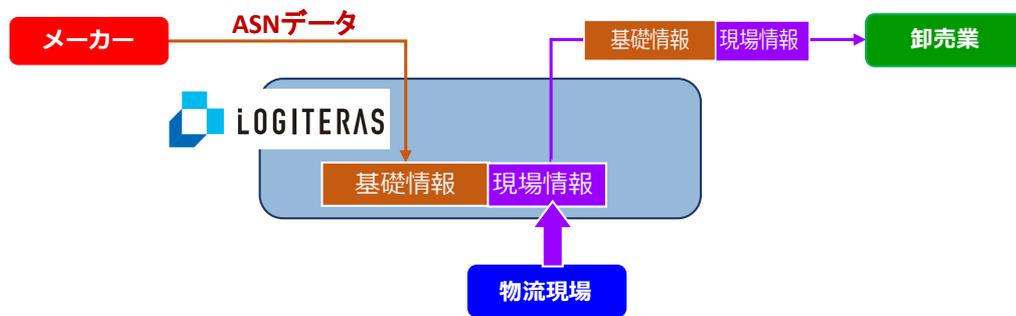
→ASNデータを活用した伝票レス、検品簡素化を実装し、普及推進するためのガイドライン

これまでの活動：デジタルの動き

ASNデータに加えて、物流関連の機能を順次搭載して参ります。

1. ロジテラス

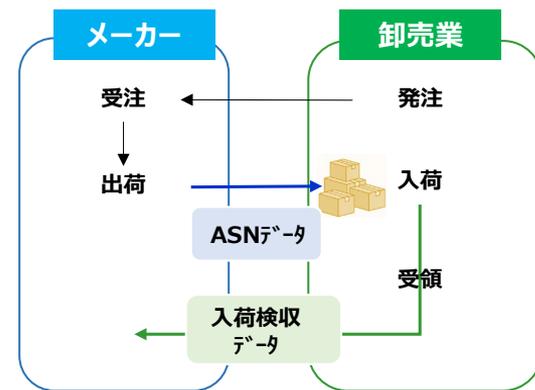
物流業務の進捗にあわせてASNデータを更新して卸売業に送信する機能です。
また、ASNデータに含まれる情報を自社で利用する物流関連ツールとの情報連携もできます。



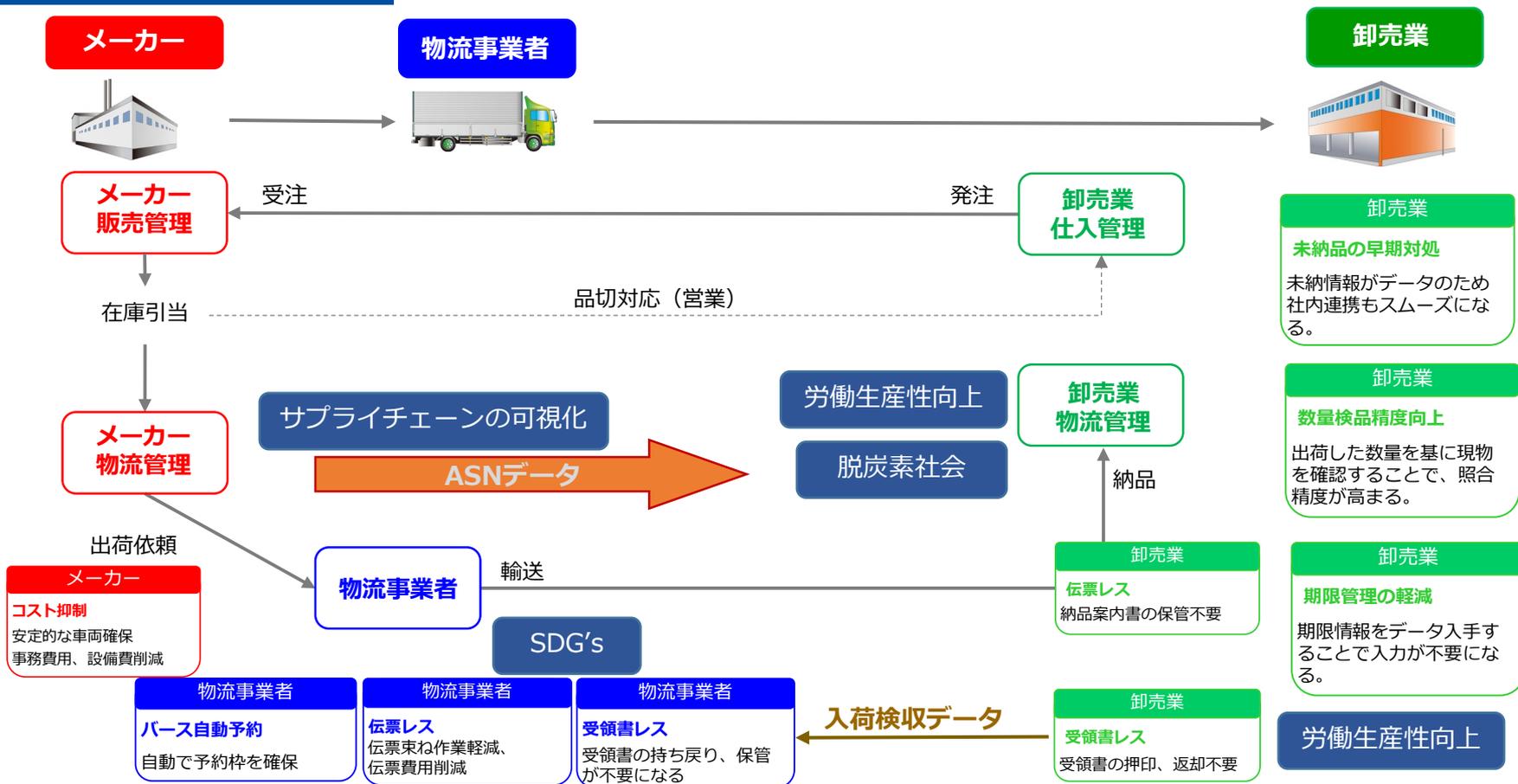
2. 入荷検収データ

ASNデータ（事前出荷案内）にもとづき、受領した商品情報を卸売業からメーカーに通知するデータです。

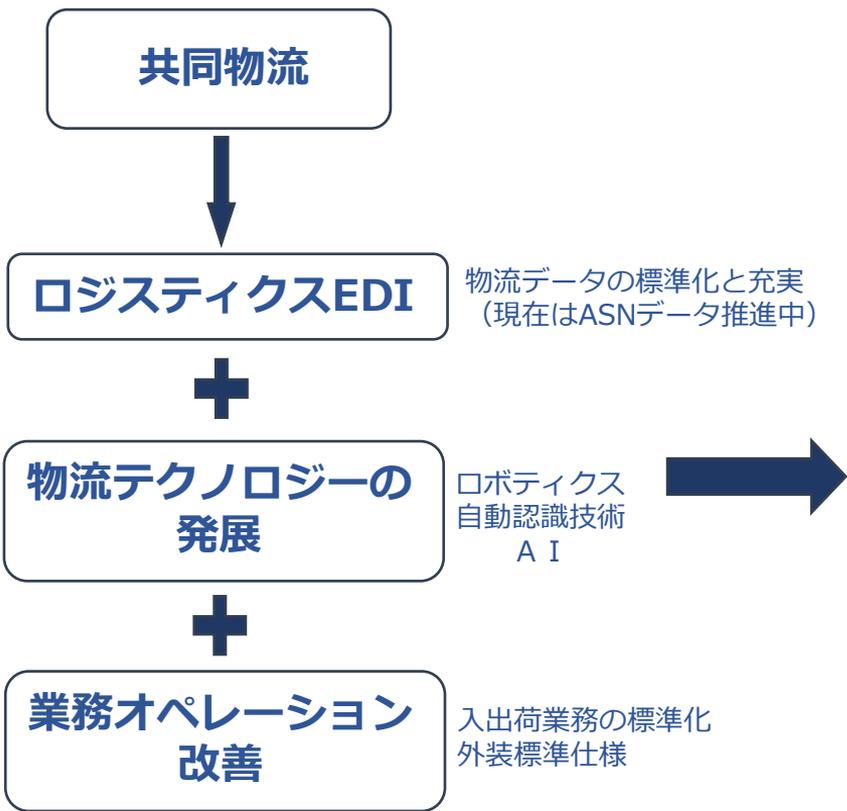
| 納品日 | 出荷元 | お届け先 | 商品 | 納品 ケース数 | 受領 ケース数 |
|----------|-----------|-----------|--------|------------|------------|
| 2023/8/3 | 〇〇運輸九州事業所 | **卸九州センター | 歯磨きABC | 56 | 56 |
| 2023/8/3 | 〇〇運輸九州事業所 | **卸九州センター | 洗口液XYZ | 90 | 72 |



ASNデータの期待効果



～ 共同物流から協調物流へ ～



協調物流

業界協調配送の実現

- ・ 最適納品提案データによる業界最適配送
- ・ 総待機時間最小化 総配送時間最小化
- ・ 市場の在庫最適化
- ・ バース生産性最大化
- ・ パレット出納、回収管理の自動化
- ・ 入庫自動仕分け

(必要な機能)

- ・ 車両到着管制機能
- ・ 入荷連動配送機能
- ・ 発着荷主マッチング機能
- ・ 車両シェアリング機能
- ・ 配送ルート最適化 提案データ (個社)



広く遍く、消費財流通の
情報インフラであり続けます





化粧品日用品業界における企業間の物流業務では「労働者人口減少によるドライバー不足」「物流拠点での納品時の長時間待機」などの様々な問題が顕在化しています。これら企業間物流の滞りにより、生活者が商品購入する小売店舗へ適時に商品が届かなくなるという恐れも出てくるため、企業間物流における対策が急務となっています。

このような状況を受けて、化粧品日用品業界の情報インフラとして標準EDIサービスを提供するプラネットは、業界流通における物流業務の機能強化に貢献すべく、メーカー各社の協力のもと、企業間物流業務の改善の指針となる『ロジスティクスEDI概要書』を策定いたしました。

<https://www.planet-van.co.jp/news/2020/1712>

<https://www.planet-van.co.jp/news/2021/1939>